



巻頭言

理事長  
下邨 昭三



## 基礎科学ノートに 期待する

平成5年4月に、日本原子力研究所は新しい研究組織として先端基礎研究センターを発足させた。これは21世紀を間近にして、我が国唯一の総合的原子力科学、技術の中心にある当研究所がより一層の発展を遂げるべく立案され、実行に移されている諸計画の一つであるが、特に当センターに期待されていることは原子力周辺における基礎科学の振興である。既に我が国の原子力科学技術は世界におけるトップレベルにあり、更に進展を重ねている所ではあるが、新しい展開はこれまでは予想もされなかった発見、発明によって推進されて来たという歴史から見ても、この時期に基礎科学的基盤を充実させることは将来の我が国の原子力諸科学にとっては勿論のこと、世界の当該分野に対する貢献へ向けて重要な布石となるであろうと考えている。

当センターは発足以来、活発な研究活動を開始しているが、特に基礎研究にとって重要なことはともすればせまい専門家の間のみで話題となるような基礎的知見を、広くかつわかりやすい形で内外に知ってもらうことである。これによって普遍的価値のある情報を有効に拡大し、工学的応用への可能性を高めるとともに、基礎研究それ自体への評価、要望を受ける機会を高める。今般当センターが研究のエッセンスを基礎科学ノートとして定期的に刊行し、御関心、御批判をいただける内外諸兄姉に御高覧願うことになったと聞き、大変結構なことだと考えている。先端基礎研究センターがその充実した研究内容を適切、明確な形で自ら語り、そしてこれに対する外部の率直な意見、感想が寄せられて常に高いレベルの、そして親しみ易い情報交換誌としてのノートが創成されるよう希望する。